



関川村

第144号

令和8年(2026)

8月15日発行

議会だより



7年ぶり 敬老会

関連記事は3ページ



村のホームページでもご覧になれます。
<http://www.vill.sekikawa.niigata.jp/>

発行 関川村議会 発行責任者 議長 小澤 仁
編集 議会広報常任委員会 TEL (0254) 64-1494

関川村の福祉向上につながる条例が制定!!



聴覚障害マーク

※付託とは、本会議の審議に先立ち提出された議案等を、専門の委員会に回し詳しい審査や調査を委ねること。

この議件は、総務厚生常任委員会に「付託」された議件。委員会では議件について理事者に説明を求め質疑を行い、討論、採決にて賛成多数により可決されるべきものと決定した。その後、審査報告を行い本会議にて可決された。(条例は関川村ホームページ掲載)

「障がいの有無によって分け隔てなく個人の尊厳が守られる環境整備は、村の福祉向上に必要不可欠なことから、この条例の制定がその一歩になることを期待するため賛成」

賛成討論

「条例の制定よりもその後の取組が重要で、単なる理念条例で終わるようであれば反対」

反対討論

関川村手話言語及び「コミュニケーションに関する条例」制定

6月定例会議・臨時会議(5月)開催

—内容は抜粋—

報告

■令和7年度関川村簡易水道事業会計予算
1500万円繰越

●金丸配水区多重伝送装置雷害本節工事は、N T Tの光回線開通工事との工程を調整したことによるもの。

議案

■令和8年度関川村一般会計補正予算
5680万円追加

●物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金活用7事業ほか。

①省エネ家電入替助成事業

②小中学校給食費減免

③高齢者福祉施設光熱費補助

④集会所整備促進事業

⑤簡易水道会計補助

⑥ゆくむ指定管理者支援

⑦集落活動支援補助金

問 川崎哲也議員

中学校の給食費保護者負担は、全額免除か。

答 教育課長

中学校は物価高騰分のみ免除していたが、今回の臨時交付金で全額免除。

問 鈴木紀夫議員

省エネ家電入替助成事業補助金とは。

答 脱炭素推進室長

令和8年4月からエアコン(5万円上限)とLED照明(2万円上限)に交換した場合に対象経費の2分の1を補助する事業。

問 加藤つや子議員

集落活動支援補助金の具体的内容は。

答 総務課長

物価高騰による集落活動

の抑制に対して応援する目的で、集落活動の全てを対象として一世帯あたり2千円を集落に交付する。

■令和8年度関川村国民健康保険関川診療所特別会計補正予算
1180万円減額

●診療所医師の採用年月日が10月1日となり、4月から6か月分の給与等の減額分。

■令和8年度関川村下水道事業会計補正予算
200万円増額

●せきかわ浄化センター省エネ改修工事(LED照明)分。



せきかわ浄化センター

第5回臨時会議

5月11日開催

報告

専決処分

■令和7年度関川村

一般会計補正予算

3億100万円減額

●令和7年度事業費及び財源の確定など、実績に基づき補正したもの。

■令和7年度関川村

後期高齢者医療特別会計補正予算

300万円追加

●保険料が増額となり県の広域連合へ納付。

議案

■令和8年度関川村一般会計補正予算

790万円追加

●物価高対応子育て応援手当給付費の不足分、指定ごみ袋製造等管理委託料、ゆくむの湯湯ポンプ購入費。

問 加藤和泰議員

指定ごみ袋は、ナフサ不足による品薄は心配ないか。

答 住民税務課長

村のごみ袋の在庫と今年度製造する分を合わせ、十分な量を確保できる。

■財産の取得

【除雪機械購入事業】

除雪ドーザ11t級・車輪式
契約金額
1809・5万円

●合資会社坂町重機工業

小型除雪機1m級・ロータリー除雪車
契約金額
1574・1万円

●株式会社日の出自動車

採決の結果、可決され本契約とした。



議員表決結果報告

区分	議案	小澤仁	加藤や子	川崎哲也	近敬志	近壽太郎	加藤和泰	高橋正之	菅原修	平田広	鈴木紀夫	採決結果
臨時会議	報告	令和7年度一般会計繰越明許費に係る繰越額	—	○	○	○	○	○	○	○	○	可
		専決処分（関川村税条例の一部を改正する条例）	—	○	○	○	○	○	○	○	○	可
		専決処分（関川村国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	—	○	○	○	○	○	○	○	○	可
		専決処分（令和7年度関川村一般会計補正予算第12号）	—	○	○	○	○	○	○	○	○	可
		専決処分（令和7年度関川村後期高齢者医療特別会計補正予算第3号）	—	○	○	○	○	○	○	○	○	可
定例会	議案	令和8年度関川村一般会計補正予算（第1号）	—	○	○	○	○	○	○	○	○	可
		財産の取得（除雪ドーザ）	—	○	○	○	○	○	○	○	○	可
		財産の取得（小型除雪機）	—	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	報告	令和7年度関川村簡易水道事業会計予算繰越	—	○	○	○	○	○	○	○	○	可
		関川村新型インフルエンザ等対策行動計画の変更	—	○	○	○	○	○	○	○	○	可
		公益財団法人 関川村自然管理公社の経営状況	—	○	○	○	○	○	○	○	○	可
		関川ふるさとエネルギー株式会社の経営状況	—	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案	関川村手話言語及びコミュニケーションに関する条例の制定	—	○	○	○	○	○	○	○	○	可
		関川村税条例の一部を改正する条例	—	○	○	○	○	○	○	○	○	可
		関川村介護保険条例の一部を改正する条例	—	○	○	○	○	○	○	○	○	可
		令和8年度関川村一般会計補正予算（第1号）	—	○	○	○	○	○	○	○	○	可
		令和8年度関川村国民健康保険関川診療所特別会計補正予算	—	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	陳情	令和8年度関川村下水道事業会計補正予算	—	○	○	○	○	○	○	○	○	可
		令和8年度関川村簡易水道事業会計補正予算	—	○	○	○	○	○	○	○	○	可
		義務教育国庫負担制度2分の1復元を求める意見書採択	—	○	○	○	○	○	○	○	○	採
		「30人以下学級実現・教職員定数の改善・働き方改革」に係る意見書の採択	—	○	○	○	○	○	○	○	○	採
議案	発議・発委	発議案 関川村議会議員政治倫理条例の制定	—	○	○	○	○	○	○	○	○	可
		発委案 関川村議会委員会条例の一部を改正する条例	—	○	○	○	○	○	○	○	○	可
		発委案 関川村議会会議規則の一部を改正する規則	—	○	○	○	○	○	○	○	○	可

可＝可決 採＝採択 同＝同意 認＝認定 ○賛成 ×反対 —議案が議員本人に関する場合や議長は採決に加わりません。

表紙の小話

敬老会（上関）

6月28日、令和元年以来久しぶりに開催され参加者の中には、待ちきれず開場前に来た方もいました。ビンゴ大会や地元有志によるライブ演奏、お玉でお菓子すくいなど、笑いの絶えない日になりました。



ビンゴ大会



お菓子すくい

村政を問う

6 月定例議会 一般質問 5 人登壇

- 加藤 和泰 2050年の関川村
- 加藤つや子 防災タブレット / 障がい者グループホーム(追跡)
- 鈴木 紀夫 危険木の伐採
- 川崎 哲也 災害対策 / 出前講座(追跡)
- 高橋 正之 有害鳥獣対策 / ジビエ(追跡)



将来の人口減少を見据えた行政運営を

村 長 持続可能な行政の在り方を検討

村長 一定の生活機能やコミュニティ機能を維持しながら効率的に地域づくりを進める考え方は、今後の重要な視点になると考えるが、本村は集落が広域に点在し、それぞれ歴史や地域コミュニティが形成されているため、現実的には難しいのではないかと考えている。村としては、人口減少を見据えて公共インフラの効率化に全国の自治体が積極的に取り組めるような施策展開を国に求めるとともに地域の実情を訴

問 関川村の人口は、2050年に2300人程度まで減少することが予測されている。そこで居住推進地区を設定し、インフラの効率化やコミュニティの維持に取組む考えはないか。



かとうかずひろ
加藤和泰 議員

問 職員に2050年、2300人の人口になった時に関川村が存続するための計画を作成させることも必要ではないか。

村長 村の存続計画は、将来的な人口減少や地域の行政運営にどのような影響を及ぼすのかを考える上で一つの問題提起として受け止めている。村の将来については人口動向のみならず、革新技术、財制制度、国の地方行政に対する方針など、様々な要素によって状況が大きく変化する。そのため、現時点で特定の人口規模を前提とした個別の存続計画を策定する考えはないが、まずは今後10年間の村づくりの方向性を示す、第7次総合計画に基づく施策を着実に進める中で、持続可能な行政の在り方について検討を促していきたい。



コンパクトシティ構想

高齢者・障がい者の防災タブレット活用支援を

村 長

防災タブレット操作にゲームアプリ導入検討



かとうつやこ
加藤つや子 議員

問 村の防災無線に代わる、全戸配布の防災タブレットの配布状況は。

村長 村民への配布率は約90%で、未受領世帯への説明や必要な取り組みを進めていく。

問 高齢者世帯や障がい者世帯等からの苦情や課題はないか。

村長 高齢者等から「使い方がわからない、今までの広報無線があれば要らない。」といった声には、防災タブレットの操作方法や役割を丁寧に説明している。課題は、タブレットを扱ったことがない方々を中心に操作に興味を持って戴くこと。そのために、ゲームアプリの導入で楽しみながら操作に慣れってもらうことを検討している。



問 防災タブレットの操作を支援する出前講座を提案したい。

総務課長 現在、出前講座のメニューには入っていないが、タブレット操作方法を説明できる出前講座を入れていきたい。

障がい者グループホーム誘致・設立を(追跡)

問 当事者、家族に親しさあとの意向を聞き取り、国補助と県支援活用を研究し、一歩進んだ検討を。

村長 今年度、生活拠点に対し当事者、家族意見を次期障がい福祉計画と障がい児福祉計画策定の中で、対面で聴く機会をつくる。また、運営団体からは単独運営での収支面や人材確保が課題と聞いている。様々な連携を進め、課題と支援策を検討する。

危険木伐採の支援、補助制度の創設を

村 長

創設の考えは無いが他の事例を調査したい



すずきのりお
鈴木紀夫 議員

問 放任果樹伐採補助金と同じく危険木伐採補助金を新たに創設、あるいは既存の制度を包括的に拡充できないか。

村長 放任果樹については、熊対策としての緊急性から、国の補助事業を活用して取り組んでいる。個人所有の樹木の管理は土地所有者または管理者の対応が原則で、村が直接伐採することは考えていない。対象範囲や補助要件、危険の判定など難しい問題もあるが、他の自治体の取組など、危険木に対する対応について参考になる事例があるか調べてみたい。



※悉皆調査とは、調査対象全てを漏れなく調べる手法

問 農林課長 予算よりも多く申請が上がってくると思う。優先順位をつけて対応していくが、今年度実施できなかった箇所は、来年度以降に現状を確認しながら要望に応えたい。

問 危険木箇所について区長と連携した悉皆調査の考えは。

総務課長 他自治体で行っている調査方法を確認して、検討する。危険木を村でどう対応するかも含め、先々を見据えて、総合的に研究していく。

住民主体の防災、村の役割と責任は

村 長

自主防災組織など住民との連携を強めていく

問 村と住民、その他関係機関の役割を明確にし、日頃からコミュニケーションを取り合っていくことが、地域防災の強

総務課長 立ち上げが必要となれば、村で音頭を取っていく。

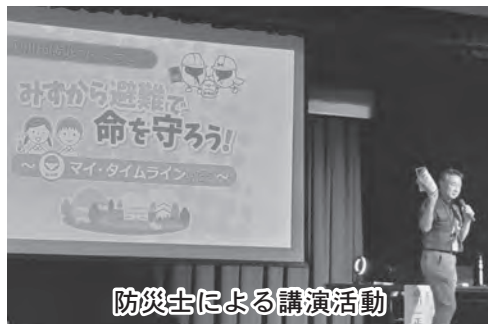
問 地域の防災リーダーとなる防災士の育成や、その活動の充実のために、防災士会を立ち上げる予定は。

村長 住民による防災計画作成の支援と、防災訓練や研修会などの開催を通じて、平時からの住民の支え合いネットワーク作りを図っている。

問 災害が多発化・激甚化する昨今、住民の防災力強化が重要であるが、高齢化や地域住民同士の関係希薄化など課題もある。村の支援は。



かわさきてつや
川崎哲也 議員



防災士による講演活動

教育長 周知方法の多様化と、運用改善を図っていく。地域作りに積極的に参加する意識を高めるためにも、多くの住民に活用してもらいたい。

問 出前講座を知らない住民も多い。周知や活用を促す取り組みを。

せきかわ出前講座

村長 防災上の林業の役割は大きい。森林施業が促進されるよう努める。

問 治山治水の観点から、林業振興もますます重要ではないか。

化につながると思うが。総務課長 お互いの連携をこれまで以上に図っていく。

近々の熊対策と整備を

村 長

ジビエ解体処理場積極的に協力

問 昨年12月の定例会議で、ガバメントハンター

「追跡質問」

に導入していきたい。

問 危険木や林に、村で補助を出す考えはないか。

村長 伐採は所有者がやるのが基本。国制度に熊対策の関係で整備するメニューがあれば積極的に導入していきたい。

問 クマの出没が頻繁化している現在、近々にやらなければならない集落内の立木や、集落付近の林など、Jクレジット制度を使って処理することはできないか。



たかはしまさゆき
高橋正之 議員

村長 猟友会が主体となり施設整備計画を作成し、他自治体施設を視察するなど運営上の視点で検討を行い概算経費が見えてきた。中東情勢の悪化から建築資材も入りにくいが、村は調整役として積極的に協力し、猟期になる冬期に合わせるように可能な限り進めたい。



冬眠しないクマ

の養成を進めると答弁されたがその後の進捗は。村長 国県の動きとは別に、村では猟友会の人材も含め集落支援員制度を活用した人材確保を図ったが適任者がいなかったため、3月から地域おこし協力隊員を募集。集落支援員制度活用も含め、引き続き担い手確保に努めていく。

問 ジビエの解体処理は、昨年12月に場所の選定が決まった。その後の進捗と完成予定は。

議員活動報告



近 壽太郎 委員長

議会改革特別委員会活動を聞く!! 住民自治の根幹としての議会を目指す『議会改革』を推進中!

関川村議会議員政治倫理条例制定

「本条例は、6月定例会議にて可決」

関川村議会基本条例第4条に基づき、村民の代表として常に高い倫理観をもち、襟を正して職務にまい進し、議員自ら律する強い意思を村民に示す内容となっている。

関川村議会基本条例実践取組決定

● 村民に開かれた議会

・「議会だより」の充実

・公聴会・報告会の実施

・議会中継の必要性および導入検討

● 活発な議会を展開する議会

・発議案、発委案、陳情請願の対応

・各委員会の活性化、活動計画の作成

● 政策提言ができる議会

・議会の検討会の開催

・一般質問の勉強会

● 住民の声を行政に反映する議会

・問題と思われる現場に向き声を聴く

・広聴会等で得られた声を反映する

・議会モニター活動の充実

● 議会のDX化

・ペーパーレス化・議員活動の変革化

議会改革進捗状況

令和7年度

● 関川村議会基本条例制定

令和8年度

● 関川村議会議員政治倫理条例制定

(条例は関川村議会ホームページ掲載)

令和8年度

● 関川村議会基本条例を実践する取組

● 実践内容を推進

当議会は制定された各条例の取り組みにより、各委員会の活動も活発になると共に、村政の健全な発展と将来にわたる議会への信頼を確固たるものにするための「大きな一歩」を踏み出した。

つづく……



今後の活躍に期待!!

高橋正之 議員
小澤 仁 議員
加藤和泰 議員

議会議員として10年以上、地方自治の振興に貢献されたことによる表彰 (左から)

自治功労者 表彰に3人!!

新潟県町村議会



ここにたつはる
小谷達治さん (高田)
(田んぼの除草作業)

村民の声

お米と星空に感動

昨春秋、高田集落に移住し、お米作りを始めた二社十郷の小谷さんを紹介します。

Q 自己紹介をお願いします。

A 小谷達治、28歳、鳥取出身です。元々大工をしていましたが、食品関連の会社十郷への転職を機に、新潟で農業を始めようと思い、関川村の農家の方のご縁で、移住してきました。

Q 関川村に暮らしてみてもうの印象は？

A 先ずは雪の多さに驚きました。雪下ろしは初体験、毎日の雪かきは筋トレと割り切り、何とか冬を越せました。

感動したのはご飯。正直、新潟で一番美味しいと思います。あと、高田から見上げる星空も感動的です。星空を眺め、癒されています。

Q 村民の印象は？

A 皆さん気さくで優しい

です。この春から、商工会の脇で田んぼをしています。が、通りすがり声を掛けてくれる方が多くて有り難いです。

Q 休日は何をしていますか？

A 体を動かすのが好きで、趣味はテニスです。でも今は、農作業が忙しくて練習していません。

今年、関川マラソンに出場しました。冬の雪かきと春からの農作業で体力がついて、練習なしで完走できました(笑)。

Q 暮らしの中で、大変なことはありますか？

A 私は今、車を運転できないので、村内の移動が大変です。自転車と同僚の車が移動手段です。でも最近乗り合いタクシー「えぶり号」について知ったので、利用してみたいです。

Q これからの展望をお聞かせください。

A 会社として、食と農業



十郷主催の都内イベント

による地方の再生は重要と考えています。耕作放棄地の活用や、農を通じた都市部との交流事業も企画しています。

個人的には、村の伝統文化の継承にも携わりたいですね。祭や行事に積極的に参加したいです。

それと、関川村で家庭も築いて、ずっと暮らしていけたらと思います。

編集後記

「人生100年時代」と言われています。

皆さんは健康に良いこと何かしていますか。生活習慣の中でも特に重要なのは、日々の食事と運動と言われています。高齢になればなるほど筋肉が衰えてくるので運動は不可欠とのこと。

参考ですが、健康のためには座っている時間をできるだけ減らしたり、飲み物はコーヒ(無糖)やお茶にするのも有効なようです。

また、毎日暑い日が続いています。熱中症にならないよう塩分・水分補給に心がけ、しっかり睡眠や休養を摂って、正しい食事と運動習慣の両立で健康寿命を延ばしましょう。(広)

議会広報常任委員会

委員長	加藤つや子
副委員長	近 敬志
委員	川崎 哲也
〃	高橋 正之
〃	菅原 修
〃	平田 広